

指導者 廿日市特別支援学校

教諭 佐々木 雅子 (T1)

教諭 草野 杏奈 (T2)

- 1 日時, 場所 令和3年11月24日(水) 13:20~14:10
中学部第3学年3組 教室
- 2 学部, 学年, 学級 中学部第3学年3組(男子3名, 女子2名)
- 3 単元名 「おいしい夕食を考えよう」

4 単元設定の理由

(1) 生徒観

本学級は、男子生徒3名、女子生徒2名の知的障害の単一障害学級である。

本学級では、会話によるコミュニケーションが中心である。生徒はお互いの特性を理解し合い、会話でのコミュニケーションを通じて、関係性の構築を行うことができている。

これまでの学習の中で、生徒は、食に関する関心が高く、苗から栽培したピーマンについては、その調理法を調べ、それまでは、ピーマンに対して苦手意識があったが、積極的に食べてみたり、食事の栄養バランスの学習をした後は、食事の適正量を意識して食べる場面が継続して見られるようになってきたりしてきている。一方で、家庭では、好きなものしか食べないといった偏食傾向がみられるなど、学習が家庭生活や食生活に般化しきれていない実態もある。以上のことから、なぜ、栄養バランスのとれた食事をする必要があるのかに気付き、実生活に活用できる栄養バランスの改善方法を習得することで、食事における主体的な栄養バランスの改善に繋げていきたい。

(2) 単元観

本単元では、栄養バランスが偏ったり不足したりすることによる心身への影響についての学習を通して、身体に必要な栄養について理解をし、バランスの取れた食事等についての学習を進めていく。また、栄養バランスが取れた食事の取り方や、食生活の改善についての理解を深めることで、将来に向けての自立した食生活への見通しをもち、より豊かな食生活へ繋げていくことをねらいとしている。

栄養バランスの改善案を、友だちと共有するという活動は、特別支援学校中学部学習指導要領、職業・家庭科第2段階「家庭分野」「B 衣食住の生活」「イ 栄養を考えた食事」の「(ア) 身体に必要な栄養について関心をもち、理解し、実践すること。」「(イ) バランスのとれた食事について気付き、献立などを工夫すること。」、国語科第2段階〔思考力、判断力、表現力等〕「A 聞くこと・話すこと」の「イ 相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にすること。」「ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えること。」の内容について取り扱うことができ、栄養バランスの偏りに気付いて改善したり、自分の伝えたいことを、根拠を踏まえて説明したりする力に繋がると考える。

1日の食生活を通して考える学習活動は、職業・家庭科第2段階「家庭分野」「B 衣食住の生活」「ア 食事の役割」の「(イ) 日常の食事の大切さや規則正しい食事の必要性を考え、表現すること。」をねらって設定したものである。広島県の地場産物を調べるといった活動についても、社会科第2段階「エ 産業と生活」「(ア) 県内の特色ある地域に関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」の「④人々の活動や産業の歴史的背景などに着目して、地域の様子を捉え、それらの特色を考え、表現すること。」、さらに、

「オ 我が国の地理や歴史」「(ア) 身近な地域に関わる学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。」の「⑦自分たちの県の概要を理解すること。」の内容について取り扱うことができ、自分たちの生活する地域の特色に対する気付きや理解に繋がると考える。

授業内容に関して、食生活の改善についての学習では、献立の改善に取り組むことで、給食や家庭等で食べている献立の工夫や配慮に気付き、献立や食材に意識を向けることができると同時に、自立した食生活を目指した工夫を考え、理解を深めていくことができる活動であると考え。学習の中では、栄養の偏った献立を意図的に提示し、その偏りに気付き、自分でできる献立の改善について、三色食品群の表を参考にしながら工夫して取り組んでいくことで、日々の生活の中で、学習内容を生かすことができるようにしていく。

学習全体を通して、豊かな食生活への意識が高まり、自分でできることは何かを考え、解決しようとする力に繋げていくことができるのではないかと考える。

単元を通して、必要な栄養について理解(ち「知識」)し、献立の栄養バランスや食事の在り方について考え(は「働く力」)、改善しよう(か「活用」)とすることができるようになるとともに、その改善案を友だちと共有する(つ「つなぐ」)ことで、より気付きの幅を広げていくことができると考える。同時に、家庭生活や外食をする際に学習したことを活用してみよう(い「意欲」)としたり、地場産物を見て、地域の特産物であるということに気付いて関心をもったりする(い「意欲」)ことができるようになるのではないかと考える。

(3) 指導観

本時の指導に当たっては、第1次では、昨年度までの既習事項である三色食品群の役割を再確認していくとともに、様々な食材がどの食品群に該当するのかを、イラストや表を活用して分類していくことで、理解を深め、次時以降の授業へと繋げていく。

本時を含む第2次では、食事改善や栄養バランスについて学習を行っていく。事前に生徒から集約した1週間分の食事の中で、課題がある食事内容を教師が食べる役として出演して事前に動画撮影し、当日視聴する。そこでは、課題と感じた場面について友だちと共有し、具体的な課題に対する意見や感想を出すように促していきたい。動画の最後で登場する夕食の献立をサンプルにして生徒に提示し、惣菜のサンプルを実際に動かして食材を変更させたり、増減させたりすることで、視覚的に確認させ、イメージを膨らませながら、改善に取り組ませていく。惣菜等のサンプルには、スーパーやコンビニ等で購入する時と同様に、シールで原材料を載せておくことで、どうすれば原材料等を確認できるのかといったことも含めて学習を進めていきたい。本時は、家庭の冷蔵庫にあるであろう調理が必要となる食材も混在させて提示をする。そして、生徒がそういった食材を選択した場合には、どう調理するのかを問いかけ、現在の自分の技量でできることとそうでないこととの気付きを促していく。また、それをどう解消していくかについて、考えを深めていくことで、より実生活に即した改善策を提案できるように学習を進めていきたい。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理実習が実施できず、生徒が提案した献立を調理し、試食することは難しい状況にある。これに対する代替として、生徒が提案した献立を、後日教師が喫食する様子を動画の続きとして視聴することで、実生活と繋げて考えることができるようにしていくと同時に、献立を改善したことの達成感へと繋げていく。

第3次では、和食や地場産物について取り上げ、調べ学習を行うことで、地域社会に対する関心を高め、理解を深めていく。豊かな食生活を考える指針の一つとなるよう、生徒の気付きを尊重した学習を進めていきたい。

学習評価に当たっては、事前に担任間で生徒の目標や評価規準を共有する。授業後には、目標や評価方法が適切であったかどうか、生徒の発言や行動から確認し、次回の授業に向けての改善、目標設定を行っていく。

授業の中では、生徒の発言や行動の様子を、具体的に評価していくことで、生徒の意欲や達成感に繋げる。指導者は肯定的な評価を行い、その中で、生徒が主体的に課題に気付くこ

とができるように、具体物や動画を活用して、繰り返し確認ができるようにしたり、気付きに繋がる質問や振り返りの言葉かけを行ったりしていく。

5 単元の目標と評価規準

単元目標	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等		学びに向かう力, 人間性等		
	身体に必要な栄養について理解し, 献立を立てることができる。	バランスのとれた食事について気付き, 献立を考え, 表現することができる。			健康な生活と食事の役割の関係について理解を深め, より良い生活の実現に向けて, 生活を工夫しようとすることができる。	
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・三色食品群の役割や必要性について理解している。 ・必要な栄養が含まれたメニューを選択し組み合わせている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・献立のバランスの偏りに気付き, バランスを改善した献立を提案している。 ・献立を提案した理由を説明することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地場産物や和食についての理解を深め, より良い食生活を工夫し, 実践しようとしている。 ・食事の役割について理解を深め, 1日の生活の流れの中での食事の在り方について改善しようとしている。 		
はつかいち「学びの変革」	ち【知識】	は【働く力】	か【活用】	い【意欲】	つ【つなぐ】	
	知識・情報技能・行動	思考力・判断力・表現力	学んだことや身に付けたことの活用	興味・関心主体性	共同・協同・協働	
育成したい資質・能力 段階表	第5段階	<input type="checkbox"/> 必要な情報を取捨選択する力	<input type="checkbox"/> 臨機応変に対応する力	<input type="checkbox"/> できるようになったことを応用・発展させる力	<input type="checkbox"/> 自信をもって自ら行動 （「あんな風になりたい」「一人できる」）	<input type="checkbox"/> 社会に貢献する力（相手を思いやり, 為になることをする）
	第4段階	■ 情報を集める力	■ 正確な課題遂行能力	<input type="checkbox"/> 自分のもてる力で課題に対処する力	■ 繰り返しやってみる （「またやろう」）	<input type="checkbox"/> 仲間と協働する力（同じ目的に向かって働く）
	第3段階	<input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な学力（書く, 聞き取る, 読み取る, 見る, 数える）	<input type="checkbox"/> 集中力・忍耐力	■ より良くするための工夫する力	<input type="checkbox"/> 積極性 （「よし! やるぞ!」）	<input type="checkbox"/> 仲間と協働する力（心と力を合わせて活動する）
	第2段階	<input type="checkbox"/> 学習活動への興味・関心（探求する）	<input type="checkbox"/> 支援を要求する力	<input type="checkbox"/> 体験したことを思い出し挑戦する力	<input type="checkbox"/> 自発性 （「やってみようかな」）	■ 仲間と共同する力（力を合わせて活動する）
	第1段階	<input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣（集団のルール, マナー, 学習姿勢）	<input type="checkbox"/> 自分が得意なことを知る	<input type="checkbox"/> 体験したことを振り返り繰り返す力	<input type="checkbox"/> 興味・関心 （「楽しそうだな」）	<input type="checkbox"/> 仲間と場を共有する力

6 指導と評価の計画（全8時間）

	指導計画	時数	指導内容（学習内容）	評価の観点		
				知	思	学
第1次	・栄養について考えよう	1	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養が偏ったり不足したりすることによる心身への影響 ・三色食品群の役割や分類 	○		
第2次	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割について考えよう ・バランスの摂れた食事をしよう 	4 本時 1/4	<ul style="list-style-type: none"> ・食事バランス ・自分自身でできる食事改善 		○	○
第3次	・より豊かな食生活を目指そう～地域の地場産物を知ろう～	3	<ul style="list-style-type: none"> ・和食の概要 ・地域の地場産物 ・調べ学習（地域の地場産物） 			○

7 本時の目標

(1) 全体の目標

献立を見て, 栄養バランスの改善案を提案できる。

(2) 個々の目標

※本研究授業では生徒Aの姿を通して、目標設定や指導・支援、学習評価について検証します。

生徒	これまでの様子	はつかいち「学びの変革」・目標（評価方法）
A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食を多少残すことはあるが、一つの献立を全て残すことはなく、偏らずに食べることができる。 ・学習したことは、教科等に関係なく、継続的に取り組むことができる。 	は <ul style="list-style-type: none"> ・動画の中での食生活における課題点を、選択したり、言葉で説明したりして表現できる。（選択・発言）
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいことを考えたり、自らの発想を実際の言動に繋げたりするのが難しいことはあるが、手掛かりを基に、考えたり、解決に向けての行動に繋げたりすることができるようになりつつある。 	か <ul style="list-style-type: none"> ・三色食品群が全て入った献立になるように、表を確認しながら、食材を変更したり、追加したりして改善することができる。（行動観察）
B	<ul style="list-style-type: none"> ・事象と結果を結び付けて考えることはできるが、その過程を言葉で相手に伝えることが難しいことがある。 	は <ul style="list-style-type: none"> ・教師から提案された献立に含まれる栄養の偏りについて、具体的に説明できる。（発言）
	<ul style="list-style-type: none"> ・2年時にも、栄養バランスについて学習し、以降、食事の適正量を自ら考え、お代わりはしないなど、体調や体質を考慮した主体的な改善に取り組む姿が見られる。 	か <ul style="list-style-type: none"> ・気付いた献立の偏りを改善し、改善点を理由とともに説明できる。（行動観察・発言）
C	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの栄養と健康の関係性についての学習や、万歩計で日々の歩数を記録していく中で、健康について関心をもつことができる。 	は <ul style="list-style-type: none"> ・栄養が偏ることによる身体への影響について簡潔に説明できる。（発言）
	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会の給食の献立説明やクイズに関心をもっており、特にクイズに関しては、食材に含まれている栄養やその産地等について、意欲的に考え、答えることができる。 	か <ul style="list-style-type: none"> ・食材自体の色と三色食品群の示す色を混同することなく区別し、食材に含まれる原材料を根拠に、三色食品群に正しく分類することができる。（行動観察）
D	<ul style="list-style-type: none"> ・（諸般の事情により、割愛。） 	は <ul style="list-style-type: none"> ・提示された献立の課題点について、言葉で説明できる。（発言）
	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠や理由を踏まえて、気付いたことを、説明することができる。 時折、主語等が抜けて、相手に意図が伝わらないこともある。 ・昨年度から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、調理実習の実施ができていないが、休憩時間に調理法に関する書籍を読んで、「〇〇を作りたい。」と話すなど、調理に対する意欲・関心が見られる。 	か <ul style="list-style-type: none"> ・自分でできる献立の変更や追加を、根拠を説明しながら行うことができる。（発言・行動観察）
E	<ul style="list-style-type: none"> ・（諸般の事情により、割愛。） ・トークンを用いることにより、見通しをもって活動を進めていくことができる。 	は <ul style="list-style-type: none"> ・三色食品群の表を確認して、献立の中に三つの食品群が含まれるメニューを追加できる。（行動観察）

8 準備物

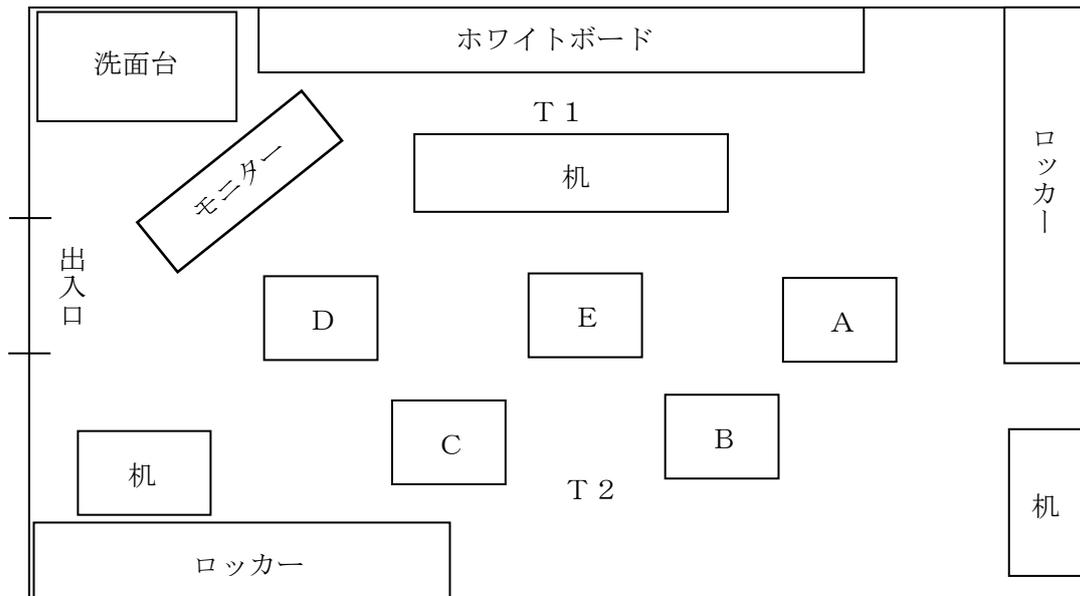
生徒用タブレット型端末、教師用タブレット型端末、HDMIケーブル、モニター、三色食品群の表、食材や食品の模型、お盆、段ボール冷蔵庫、顔写真カード

9 学習過程（※別紙）

10 評価の観点

- (1) 本校の研究仮説に基づき、育成したい資質・能力を明確にし、単元の評価規準を設定するとともに、個々の生徒の学習状況の評価を適切に行うことにより、育成したい資質・能力を身に付けることができたか。
- (2) 選択した「育成したい資質・能力『はつかいち』（学びの変革)』に係る目標設定、指導・支援は適切であったか。

11 教室内配置図



9 学習過程

学習活動	指導上の留意点 (課題 <input type="checkbox"/> , ○指導・支援 , ☆評価の観点 (評価方法) はつかいち「学びの変革」)					
	A	B	C	D	E	全体
<p>(導入)</p> <p>1 始めの挨拶 (2分)</p> <p>2 前時の振り返りを する。 (3分) (1) 三色食品群の役割 について確認する。 (2) 食材の分類につい て確認する。</p> <p>3 本時の目標・内容を 確認する。 (3分)</p>					<p>○本人用の本時の 流れや、トークン の表を提示し、見 通しをもつことが できるようにす る。(T 2)</p>	<p>○号令に合わせて、 姿勢を正すこと ができるように、 言葉かけや手 本の提示を行う。 (T 1)</p> <p>○前時に提示した 三色食品群の表を 提示し、既習事項 を確認する。 (T 1)</p> <p>○本時の目標・流 れをホワイトボー ドに提示する。 (T 1)</p>
<p>(展開)</p> <p>4 動画を視聴し食生活 の課題に気付く。 (10分)</p> <p>(1) 問題に気付いた場 面では、その場で内 容を共有する。 (2) 改善策を提案し全 体で共有する。</p>	<p>動画の中での食生 活における課題点 を、選択したり、言 葉で説明したりし て表現する。</p> <p>○主体的な気付き が見られない場合 には、課題点を提 示した場面で停止 し、気付きを促し ていく。(T 1) ☆動画の中での食 生活における課題 点を、選択したり、 言葉で説明したり して表現できた か。(選択・発言) 【は】</p>	<p>教師から提案され た献立に含まれる 栄養の偏りについ て、具体的に説明 する。</p> <p>○必要に応じて、 三色食品群ごとに 献立の食材を分類 し、視覚的に確認 ができるようにす る。(T 1) ☆教師から提案さ れた献立の栄養素 の偏りについて、 具体的に説明する ことができたか。 (発言)【は】</p>	<p>栄養が偏ること による身体への影 響について簡潔に説 明する。</p> <p>○栄養の偏りとし て考えるのが難し い時には、具体的 に食材名を提示 し、考えやすくす る。(T 1) ☆栄養が偏ること による身体への影 響について簡潔に 説明できたか。(発 言)【は】</p>		<p>○モニターでの動 画を提示する。 (T 2) ○生徒が問題点に 気付いた場合に は、動画を一時停 止させ、説明を促 していく。 (T 2)</p>	

<p>5 教師が提示した献立に各生徒が変更・追加・削除して改善を試みる。(10分)</p> <p>(1) 献立の食材やメニューを三色食品群の表に分類して確認する。</p> <p>(2) 提示された献立を各自のタブレット型端末で撮影する。</p> <p>(3) 3点以内という制限でメニューや食材を変更する。</p> <p>6 発表する。(15分)</p> <p>(1) 献立の始めの状態をタブレット型端末で提示し、比較しながら改善点を発表する。</p> <p>(2) 発表を見聞きする際には、三色食品群が全て含まれているか確認できるように、表の下に食材を並べる。</p>	<p>三色食品群が全て入った献立になるように、表を確認しながら、食材を変更したり、追加したりして改善する。</p> <p>○何を変更したり、追加したりすればよいのか、表で確認するように、適宜促していく。(T1)</p> <p>☆三色食品群が全て入った献立になるように、表を確認しながら、食材を変更したり、追加したりして改善することができたか。(行動観察)【か】</p>	<p>気付いた献立の偏りを改善し、改善点を理由とともに説明する。</p> <p>○変更や追加をした理由を、質問していくことで、説明を促していく。(T1)</p> <p>☆気付いた献立の偏りを改善し、改善点を理由とともに説明できたか。(行動観察・発言)【か】</p>	<p>食材自体の色と三色食品群の示す色を混同することなく区別し、食材に含まれる原材料を根拠に、三色食品群に正しく分類する。</p> <p>○食材の分類について、適宜確認できるよう三色食品群の表を提示しておく。(T1)</p> <p>☆食材自体の色と三色食品群の示す色を混同することなく区別し、食材に含まれる原材料を根拠に、三色食品群に正しく分類することができたか。(行動観察)【か】</p>	<p>提示された献立の課題点について、言葉で説明する。</p> <p>○始めは、本人の説明を最後まで聞き、その後曖昧な点について、質問をしながら確認を行っていく。(T1)</p> <p>☆提示された献立の課題点について、言葉で説明することができたか。(発言)【は】</p> <p>自分でできる献立の変更や追加を、根拠を説明しながら行う。</p> <p>○言葉での表現が難しい時には、三色食品群のそれぞれ量や数を根拠とさせ、主体的な説明を促す。(T1)</p> <p>☆自分でできる献立の変更や追加を、根拠を説明しながら行うことができたか。(発言・行動観察)【か】</p>	<p>三色食品群の表を確認して、献立の中に三つの食品群が含まれるよう、メニューを追加する。</p> <p>○判断が難しい時には、献立の食材を食品群ごとにまとめ、視覚的に確認をしやすいとする。(T2)</p> <p>☆三色食品群の表を確認して、献立の中に三つの食品群が含まれるよう、メニューを追加できたか。(行動観察)【は】</p>	<p>○献立の模型を提示する。(T1)</p> <p>○タブレット型端末を配付する。(T1)</p> <p>○冷蔵庫の模型を配付する。(T1)</p> <p>○タブレット型端末の写真は、発表の間、適宜確認できるように、提示しておく。(T1)</p>
--	--	--	---	--	---	--

<p>(まとめ) 7 振り返りをする。 (5分)</p> <p>8 終わりの挨拶 (2分)</p>					<p>○トークンで評価を行い、達成感に繋がっていく。(T 2)</p>	<p>○どのような栄養バランスの改善を行ったか、質問しながら確認を行い振り返りを行っていく。その中で生徒の説明や行動を取り出して評価を行うことで、達成感に繋げる。 (T 1)</p> <p>○号令に合わせて、姿勢を正すことができるように、言葉かけや手本の提示を行う。 (T 1)</p>
---	--	--	--	--	-------------------------------------	---